

事務局便り

第87号（令和2年10月）

【英霊に敬意を！日本に誇りを！】

近畿偕行会

巻頭言

「いよいよ秋本番、猛暑・残暑を乗り越えて、爽やかな安らげる季節となりました」と言いたい所ですが、未だ武漢ウィルス禍は収まりません。加えて、安倍総理突然の辞任があり愕然としましたが、幸いなことに安倍路線を継承するであろう菅義偉氏が総理となられ一安心という所でしょうか。

ともかくも安倍晋三氏の体調回復と再再度の復帰を祈るもの切なるものがあります。

10・11月は、本会の2大慰霊行事を実施しますが、簡素化せざるを得なくなりました。

また、この時期、自衛隊の各駐屯地・基地等で創立記念行事等の実施が予定されておりますが、簡素化等予断を許さない状況です。

（加賀本）

案内事項

第12回特攻勇士慰霊祭

本年は、第12回特攻慰霊祭を迎える事になりましたが、武漢ウィルス禍のため参加者を関係団体・理事・近畿偕行会会員有志に限定し、下記の要領で行う事としました。

ご自身・ご家族の健康への影響をご勘案の上、ご参加のご検討をお願い申し上げます。

記

日時：令和元年10月25日（日）11時～12時（受付開始10時30分）

武漢ウィルス禍により式典（神事）のみを碑前にて執り行います。

場 所：大阪護国神社

（地下鉄四ツ橋線住之江公園1番出口直ぐ）

参加費：志納金（式典協賛金）として1口1,000円、2口以上のご寄付をお願い致します。なお、参加できない方も英霊に対する感謝の気持ちを御芳志として御寄付を頂ければ幸甚の極みです。よろしくお願い申し上げます。

同封の特攻勇士顕彰会（00910-6-232382）用「払込取扱票」にて10月15日（木）までにお振込下さい。

メール通信者の方は「特攻勇士顕彰会（00910-6-232382）」宛に、振込みの程、宜しくお願い致します。

担当 熊谷

令和2年度パール判事顕彰献花祭

本年は23周年目の献花祭を迎えます。パール博士の偉業を偲び、東京裁判史観の払拭とインドとの更なる友好を目的に顕彰行事を行います。武漢ウィルス禍のため大阪神戸インド総領事のみを招待、参加者を関係団体・理事・近畿偕行会有志に限定し、下記の要領で行う事といたしました。ご自身・ご家族の健康への影響をご勘案の上、ご参加のご検討をお願い申し上げます。

なお、献花祭に先だって神戸インド総領事と共に、大東亜戦争での日本軍兵士、日本軍と共に戦ったインド国民軍の兵士、その後の独立戦争でのインド軍兵士達、散華された方々の慰霊祭を執り行います。

記

日時：平成30年11月28日（土）11時～12時

場所：京都霊山護国神社 Tel：075-561-7124

時程

11:00～11:30 大東亜戦争戦没者、昭和殉難者法務死者、インド国民軍・独立戦争戦死者慰霊祭（本殿）

11:40～12:00 パール博士顕彰献花式（顕彰碑前）武漢ウィルス禍により慰霊祭（神事）と献花祭のみを執り行います。

参加者は、志納金（式典協賛金）として1口1,000円、2口以上のご寄付をお願い致します。

なお、参加できない方も英霊に対する感謝の気持ちを御芳志として御寄付を頂ければ幸甚の極

みです。よろしくお願い申し上げます。

同封の近畿偕行総会（00930-7-39171）用「振込取扱票」にて、11月20日（金）までにお振込み下さい。

メール通信者の方は「近畿偕行総会（00930-7-39171）」宛に、振込みの程、宜しくお願い致します。

担当 熊谷

10・11月度歴史研究会

10月・11月度は、以下で予定しております。何方でも参加できます。また、ライフワーク等の研究発表の場としても大いにご活用下さい。

場所は、神戸大学凌霜クラブ(06-6345-1150) 大阪駅前第1ビル11階南側です。

多くの方のご参加をお待ちしております。参加を希望される方は、食事準備の都合もありますので、3日前（月曜日）の昼までに加賀本までご連絡ください。

必要費用は、軽食会食費代で3000円程度です。

担当 加賀本

TEL：072-785-8954 携帯 090-1241-8877

Mail：akio@room.ocn.ne.jp

【なお、両月度とも、メール通信者には後日、資料を送付します。それ以外の方で欲しい方は、メールアドレスをお知らせ下されば送付します。】

10月度

日時：10月22日（木） 18～20時

内容：『海戦のシナリオ：中国の尖閣侵攻シナリオ』です。

田川顧問に担当して頂きます。

アメリカの大手安全保障研究機関「戦略予算評価センター」Center for Strategic and Budgetary Assessment (CSBA) が発表した調査報告書「ドラゴン対旭日・日本の海洋パワーに対する中国の見解」(DRAGON AGAINST THE SUN) は、同 CSBA 上級研究員で中国海洋戦略研究の権威、トシ・ヨシハラ氏

（米国海軍大学校教授等歴任）が中心となって 5 月 19 日に発表されました。

中国ではすでに「尖閣への侵攻シナリオ」をつくっていつでも攻め入る準備が出来ている。日本が尖閣諸島を奪取される危険が高まったという衝撃的な警告だ。

識者が一部翻訳して発表されたが、田川顧問自ら範囲を広げて翻訳して頂きました。

特に中国海軍の艦艇配備の垂直発射ミサイルシステム (VLS) は2千基を超え、日本を圧倒している現状から、日清戦争当時のように練度の差で容易に撃破できる状況ではなくなった！！！！

将に国難ここに至る！！

大いにディスカッションしましょう。

事後、軽食懇親会をします。

11月度

日時：11月26日（木） 18～20時

内容：『米中最終決戦』です。

田川顧問に担当して頂きます。

著者は藤井厳喜氏です。

本格的な米中の最終決戦が始まった。武漢から発生した武漢ウィールスのパンデミックによって、米中冷戦は、熱戦に変わりつつある。

戦線は、ファーウェイに代表される 5G 時代の通信覇権であり、香港の一国両制、台湾の民主的体制、尖閣をふくむ海洋覇権、さらにはウイグル、チベットの自治など広範囲に及ぶ。

そのすべての局面でいま中国は一大攻勢に出ようとしている。直接、兵器を用いた戦争こそしていないが、それ以外のあらゆる分野で、米中は目に見えない戦争を戦っている。

ところが、日本の指導的立場にある人たちの間に「米中対決時代の現実を受け入れたくない症候群」が蔓延している。米中両国に二股をかけて、ビジネスを拡げてしまったため、現実を否認する病に陥ってしまっているのだ。悪いのは中国でもアメリカでもなく、トランプ個人だという誤解も日本

には蔓延している。しかし、これはトランプ大統領の問題などではない。米中対決という基軸を見失えば、ポスト・コロナの世界に現れてくる様々な問題を理解できなくなる。100年に一度のパンデミックによって劇的に変化しつつある世界の政治と経済が詳細に分析されています。

いま続く熾烈な「戦国」の世界で、日本は生き残れ

るのか？大いにディスカッションしましょう。

事後、軽食懇親会をします。

令和2年度会費納入のお願い

会費は、近畿偕行会を維持し、活動を円滑かつ効果的に運営するための軍資金です。

前86号で「振込取扱書」を同封した方で、まだお振込み頂いていない方は、当会の財政的窮乏をご明察の上、振込みの程、宜しくお願い致します。

メール通信者で未納の方は、「**近畿偕行会 (00900-6-29358)**」宛に、振込みの程、宜しくお願い致します。

疑問のある方は下記までお問い合わせ下さい。

会計担当：加賀本昭雄

TEL：072-785-8954 携帯 090-1241-8877

Mail：akio@room.ocn.ne.jp

会員増勢のお願い

ご遺族・戦友が亡くなられて行く中、戦没英霊慰霊の灯を消してはなりません。国のため命を捧げた英霊に対する感謝を忘れ、祖国への誇りを持って国民、その国は亡びると言います。

令和元年度末で、会員数は140を割りました。

「英霊に敬意を！日本に誇りを！」をモットーとする崇高な使命を有する近畿偕行会を潰してはなりません。何としても盛り上げねばなりません。解決策は、一に、会員の増勢を図る他ありません。

◎帝国陸軍関係会員の皆様には、ご子弟、お孫さんを家族会員に！！

◎自衛隊OB会員の皆様には、同期生・後輩を正会員に！！子弟を家族会員に！！

◎本会の趣旨に共鳴する、身近にいる、志ある草莽の士を発掘し、賛助会員に！！

ご協力を衷心よりお願い致します。

情報を頂ければ、事務局で対応いたします。

担当 加賀本

報告事項

今回はありません。

会外行事参加報告・紹介案内

参加報告

8月15日英霊感謝祭他関連行事

英霊感謝祭は、8月15日（土）12時から大阪護国神社に於いて、武漢ウィルス対策を実施の上、簡素化して実施されました。当会からは、加賀本会員が参加し、代表で玉串奉奠を実施しました。

式典への参加者は制限される中、多くの一般参拝者があり、若い人・子供連れも多く、幼き手を合わせ一心に拝礼する微笑ましい情景が数多く見られ「日本国は大丈夫！！」との感を深くしました。皆様もそれぞれの場所で英霊に対する感謝と慰霊の念を捧げられた事と思料致します。

去年は台風10号来襲のため、本年は武漢ウィルス禍のため他の戦没者追悼祈念講演会・真田山陸軍墓地万灯会は中止となりました。

参加できなかった方々もそれぞれの地に在って英霊に感謝を捧げられた事と拝察いたします。

一日も早く憲法改正が成り、英霊が願っている本来の日本が甦る事を祈るに切なものが有ります。

担当 加賀本

紹介案内

陸上自衛隊中部方面隊創隊60記念行事

10月4日（日）10：30から伊丹駐屯地に於いて、中部方面隊創隊60周年記念行事が実施されますが、武漢ウィルス禍のため記念式典のみの実施となります。

久々の自衛隊の行事でもあり、ご自身・ご家族の健康への影響をご勘案の上、ご参加をご検討下さい。

なお、駐屯地への送迎バスの運行はありません。

担当 加賀本

大阪護国神社秋季例大祭

大阪護国神社に於いて、10月20日（日）午前10時から秋季例大祭が催行されますが、各遺族会会長のみの参加で実施される事となりました。

担当 加賀本

真田山陸軍墓地秋季慰霊祭

武漢ウィルス感染拡大の状況を鑑み、真田山陸軍墓地維持会役員及び遺族会ご代表者様等のみで執り行う事となりました。

担当 田川

第26回全国戦没学徒追悼祭

本年も以下の通り標記追悼祭を開催します。

往復送迎貸し切りバス、弁当付きで会費 3,000 円です。是非参加ください。

日時：10月21日（水）11時齋行

齋場：戦歿学徒記念「若人の広場」

参加申し込み：田川（0798-67-6420:メール kgtagawa@bcb.bai.ne.jp）、10月9日（金）（送迎バス利用有無含む）までに連絡ください。

自家用車利用の場合は「淡路じゃのひれアウトリゾート」の駐車場に停めてください。

往復送迎貸し切りバスは湊川神社前集合、8時半出発です。

会費 3,000 円は田川が立て替え申し込みしておきますので、バス乗り場で田川に支払ってください。

担当 田川

和歌山偕行会便り

奥野和歌山偕行会会長所感

8月9日（日）「原爆投下をどう考えるか？」

無辜の市民に対して、無差別殺戮を図ったのだから、明らかに米国の国際法違反ですし、犯罪行為です。勝者の立場から、「広島と長崎に原爆投下しなかったら、日本は降伏しなかったし、もっと被害者が出たに違いない。」との主張は、言い訳にすぎません。広島だけでも充分でした。しかし、日本も原爆開発を急いでいました。矢野義昭元陸将補の著書「世界が隠蔽した日本の核実験成功」にも明らかに様に、先に日本が開発していたら、事態はどうなっていたかは判りません。風船爆弾に炭疽菌をのせる戦法さえ、昭和天皇は裁可されなかったもので、況してや原爆を使用することには反対されたかもしれませんが・・・問題は、日本人の受け取り方です。広島に石碑に、「安らかに眠ってください。過ちは繰返しませぬから」と刻まれています。小野田元少尉は、それを見て、「米軍が書いたのか？」と質問したと伝え聴きます。この碑文を考案・揮毫したのは、広島大学教授の雑賀忠義氏です。お二人とも和歌山出身なのが、奇遇です。（文責・奥野）

編集後記

未だ武漢ウィルス禍中ではありますが、猛暑続きの夏もやっと終わりました。体調を崩された方も居られたと思いますが、秋の涼風、虫の音に一日も早く本復される事を祈念いたします。

担当 加賀本

近畿偕行会

会長 加賀本昭雄

編集責任者 熊谷 勉

〒651-1513 神戸市鹿の子台北町 3-1-4-201

Tel & Fax: 078-952-3063

編集委員 加賀本 昭雄

〒664-0012 伊丹市緑ヶ丘 2-97

Tel: 072-785-8954

